

水俣病健康診断始まる

水俣
地区

未就学児童ら受診

三会場 三百六世帯を対象に

船大第 次水俣病研究班(代表武内忠男第二病理解教授)の水俣病健康診断が七日から水俣市月浦で始まった。二百からの健康状態聞き取り調査(アンケート)に続くもので十二日まで続けられる。

七日は月浦、出月、湯堂三地区の月浦選果場では色彩感覚、平衡一した。未就学児童は二、四、四十一以降の生まれで、これまで水俣病の発症が確認されている。八、九両日は同じ三会場で一

ていたが、これらの児童たちへの影響があるかどうかなどに関心がもたれている。

を対象とした健康診断、十日から十一日の午前中は湯堂公民館など三会場で湯堂地区一般と、十一日午後から二百にかけては、小、中、高生を対象として全調査を終わる。



健康診断を受ける未就学児童と母親(月浦選果場で)